



Google Workspace コラボレーション ツールで、 新しい働き方を実現

INDEX

- | | |
|-----------------------------------------------|------|
| 1. ビジネスの成果に直結するオフィスツール、Google Workspace | P.01 |
| 2. シームレスな作業環境をクラウドで | P.03 |
| 3. 会議をもっと、生産的で開放的な場へ | P.05 |
| 4. スピードを支える最新機能 | P.07 |
| 5. Google Workspace のセキュリティとデータ保護に関する真実 | P.09 |
| 6. Google Workspace への移行と共存 | P.11 |
| 7. Google Workspace のために最適化された Chromebook の実力 | P.13 |

パワフルなコラボレーションで、組織全体のスピードを底上げしましょう

ビジネスの成果に直結するオフィスツール、 Google Workspace



たとえば、白紙の段階からチーム一同で作成開始できるドキュメントや、廊下を歩いていても参加できる高品質なビデオ会議。これまでロスしていた時間を活用できれば、完成までのスピードが上がります。仕事に必要なものすべてが揃っている Google Workspace は、チームの仕事を促進し、生産性を高めます。

業務効率化だけでなく、チームの生産性向上や売上アップを目指すツール

過去に遡ると、パソコンの普及とともに個人の生産性向上が求められるようになり、それに応じたさまざまなツールが開発され、今では世界中の誰もが利用できる時代です。個々人の業務の効率化のことだけを考えるのであれば、目的に応じて使いたいツールを選び、それを使用すればことは足りてしまうでしょう。しかし、Google がオフィススイートである Google Workspace の開発に情熱を注ぎ続けているのには、理由があります。それは、Google Workspace の活用が実現する、個人ではなくチームでのコラボレーションによる生産性向上やアウトプットの最大化が、企業にとって最重要課題である「売上高の増加」につながると考えているからです。

調査会社によって裏付けられた費用対効果の高さ

米調査会社の Forrester (フォレスター) により、Google Workspace の Total Economic Impact™ (TEI: 総経済効果) について分析が行われました。ヒアリングは多岐にわたる業種の計 8 社 (社員数 4,000 ~ 50,000 規模) において行われ、その分析結果は Google Workspace を活用するお客様が「331% の投資収益率」「約 5,520 万ドルの経済的メリット」「12 か月未満の投資回収期間」「ユーザーあたり 1 年間で約 21 日間の労働時間を節約」を実現できることを裏付けました*。これらのリターンを享受するためにかかる費用は、Google Workspace 使用料のみです。ユーザーごとに、月ごとに算出されますので、コストコントロールも柔軟に行なえます。価格とプランについて詳しくは[こちらから](#)ご確認ください。

- ✓ 1.5% increase in revenue driven by Google Workspace*
- ✓ 171 hrs saved per user per year. Equal to ~21 days per user per year*
- ✓ Over 95% reduced the risk of data breach*
- ✓ 20% reduction of on-demand tech support*
- ✓ 331% ROI driven by Google Workspace

* Forrester's model organization used to estimate these results, is a global conglomerate with 20k employees, and \$3B in annual revenue.

※ Forrester Research, Inc.

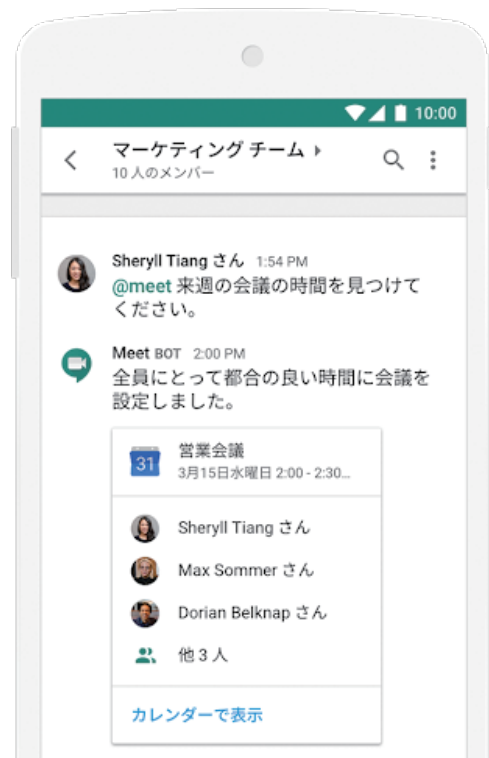
スイートであることの優位性：メール連携、横断検索

複数のツールを導入していると、UI として見た目は美しくまとまっているように見えても、実際にはそれぞれ別のシステムとして稼働し、ツールの連携にマシンのパワーや待機時間を必要としてしまいます。Google Workspace は、ひとつのプラットフォームにブラウザベースでアクセスするシンプルな仕組みです。あらゆるツールで活用されるドキュメントやデータがひとつの場所にまとまっていると、ツール同士の連携や横断検索が容易に行なえます。ドライブに置かれたコンテンツは、世界中のメンバーが同時に編集することができたり、検索で必要な情報を容易に探すことができるだけでなく、Gmail でも Chat でも Meet でも様々なサービスから同じコンテンツを利用することができます。情報やデータを中心として、仕事に必要な機能をまとめて提供するスイートである意味はここにあります。

企業向けチャットツール、Google Chat

Google Chat は、ダイレクト メッセージからグループの会話まで、チームが簡単かつ効率的に共同作業を行えるようサポートします。ドライブからアイテムをアップロードすることももちろん、Google の高度な検索機能を使用して、チャットルームのメンバーや過去の会話、共有されたファイルなどを、ダイレクト メッセージだけでなくチャットルーム横断で検索することもできます。フィルタを指定すれば、必要なものが必要なときに即座に見つかります。記憶をたどる代わりに、過去の決定事項や話し合った内容を容易に確認することができるのです。

また、チームの進捗状況やフォローアップ作業の管理も、簡単に行えるようになります。Google Vault の統合されたサポートにより、管理者は Chat 固有のデータのアーカイブ、保存、検索、書き出しを行うことができます。信頼性の高い、各基準に準拠した企業レベルの高度なセキュリティも組み込まれていますので、パソコン、スマートフォン、タブレットから安全に活用いただけます。Chat は現在 28 言語に対応しており、個々のチャットルームは最大 8,000 人のメンバーをサポートします。



Slack と Google Workspace の連携

Google Cloud では、Google Workspace の使いやすさとオープン性を高めるため、サードパーティー製品と連携できることを重視しています。Slack との連携もそのうちのひとつ。まず、Google Workspace アカウントを使用して Slack にサインインすることができます。Slack 上で「+」ボタンをクリックすると、Google ドライブのファイルを Slack の会話に挿入でき、Slack から Google Workspace のドキュメントやシート、スライドなどの新規ファイルを作成することもできます。Google Workspace は、あなたのお気に入りの環境と融合します。

企業存続にかかわる万が一の事態や、監査にも対応

万が一の事態や監査に備え、法的義務のある情報やポリシーなどの文書、メールや添付ファイルの内容を、義務化された期間中アーカイブし保存しておける [Google Vault](#) も、Google Workspace には含まれています。ファイルを誤って削除してしまったとしても容易に復元することが可能です。このようなコンプライアンス支援ツールには、通常、1 ユーザーあたり数万円のコストがかかりますが、Google Workspace なら無料です (Basic プランの場合のみ 1 ユーザーあたり 600 円)。Google Workspace のトライアルは、[こちらから](#)無料で体験いただけます。この機会にどうぞお気軽に、お試しください。

ドキュメントが【保存】から【共有】に変わった世界で働くということ

シームレスな作業環境をクラウドで



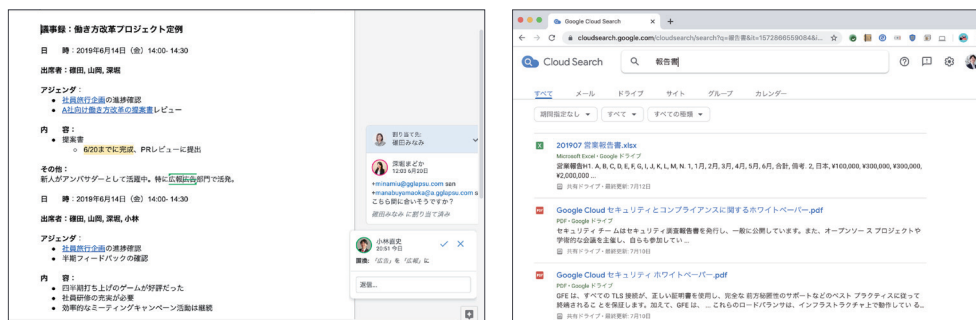
Google Workspace のツールには、【保存】ボタンがありません。かわりに設置されているのは【共有】ボタン。このことが示唆するのは、まささらな白紙の段階からチーム全体でファイルを共有し、各自のペースでアイデアを書き込み、編集し、共に作り上げていくという働き方です。

確認してほしい相手へコメントを書くだけで即座に通知

Google Workspace のツール上でコメントを追加すると、即座に相手へメールやチャットで通知がされ、受け取った相手はその場で内容を確認し、コメントを返すことができます。アイデアや意見が脳裏に浮かんですぐに、相手とのやりとりが資料上で完結できるようになると、ツールの行き来をする手間や時間といったリソースの軽減だけではなく、残タスクの管理までが資料上で完結します。細かなメンバー間の連携が増えることにより、チーム全体のモチベーション維持にも繋がります。

Cloud Search で「なんでも」「すぐに」横断検索 – OCR 連携で画像内テキストも検索対象に –

ある調査によると、勤務時間のうち 20% もの時間が検索作業に費やされているとのことです。Google Workspace の Cloud Search では、企業所有のすべてのコンテンツを対象に横断検索することができます。検索窓に入力したら、enter キーを押すだけ。ほんの一瞬で、ドキュメントやスプレッドシートの中身検索はもちろん、画像ファイルに書かれた文字までもを検索し、すべての結果をお見せします。



左：提案モードでは、すでにあるコンテンツを崩さず、相手に自分のアイデアを提案できる。提案内容は相手がチェックするだけで即座に反映される。
右：Cloud Search の実際の検索画面。OCR 連携により、画像内テキストや Microsoft Office ファイルも検索結果を返す。

Microsoft Office ファイルでも、そのまま編集して保存可能。コスト削減も

Google Workspace では、Google 形式にフォーマットを変換せずに、Office ファイル形式のまま取り扱うことが可能です。つまり、どのような環境の人でも、ファイルを Google ドライブに保存することで、Office ファイルの形式を維持したまま、ファイルをそのまま開いて編集して保存する、という一連の作業ができるのです。外部協力者やオフィスソフトの使用頻度が低い社員のために最新版のソフトウェアを購入する必要がなくなるため、コスト削減にも貢献します。

Box for Google Workspace – Box との連携 –

すでに Box をお使いの方にも、より便利にお使いいただけます。Box for Google Workspace では、Box の安全なコンテンツ プラットフォーム上で直接 Google Workspace を展開できるため、生産性を保ちながら業務のスピードアップを実現することができます。どちらのプラットフォームで作業しても、コンテンツは常に最新状態に保たれ、統合管理されますので整合性を気にする必要はありません。また、Box for Gmail アドオンや Box for Google Chat ボットもリリースされました。

Gmail アドオンを利用することで、Box ファイルのメール添付や、添付ファイルの Box への保存を Gmail 内で行うことができます。また、Box for Google Chat ボットを活用すれば、Google Chat 内の Box ボタンから、Box for Google Chat のコンテンツにアクセスすることができます。また逆に、Box 上にて Gmail や Chat へアクセスし連携することもできます。Google Workspace は、実務を行うチーム全体の選択肢をひろげ、常に高い生産性を保てる柔軟な環境を提供します。

共有する世界で核となるもの、セキュリティ

ドライブにアップロードされるファイルはすべて暗号化されます。ファイルはクラウド内に留められ、作業は其中で完結。誰がいつ、どのファイルにアクセスして、どのような作業をしたのか、クラウド内で行われた活動の様子は管理画面から簡単に検索することができ、あらかじめ禁止するアクションを設定することで、禁止したアクションが行われた場合は管理者へ即座にアラート通知することができます。

— 安全な環境とは何か、リスクを未然に防ぐために何ができるのか。その難問に対して真摯に向き合ってきた Google が提供する Google Workspace は、セキュリティを中核におきデザインされています。Google Workspace での Google のセキュリティ、コンプライアンス対応について詳しくは[こちら](#)をご覧ください。また、次回のホワイトペーパーではセキュリティに特化した情報をお届けいたします。



ISO 27001
ISO 27017
ISO 27018
ISO 27701



HIPAA



ISAE 3402 Type II



SSAE 15 Type II



AICPA SOC 1, 2 & 3



FedRAMP ATO
For Google Workspace
and App Engine



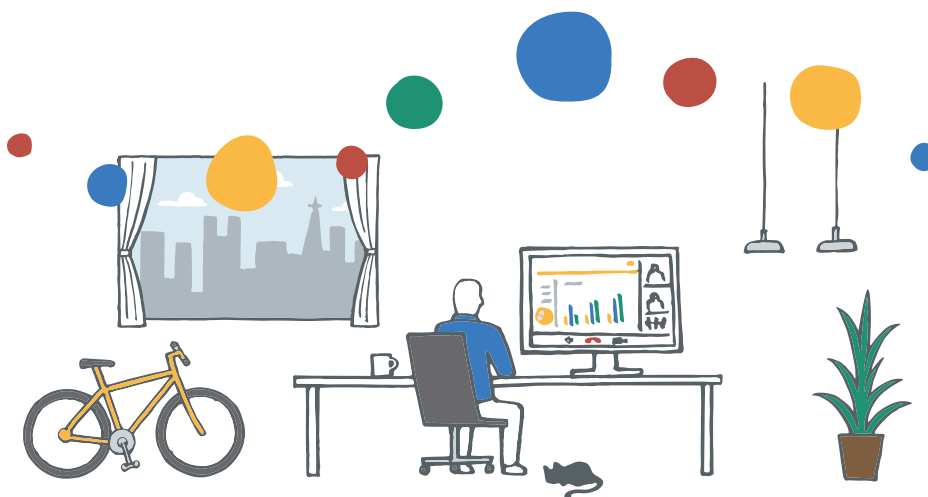
PCI DSS v3.2
MTCS Level 3

あなたの思考に寄り添うツールが、共有する世界を推進します

従来のグループウェアは、カテゴリや機能ごとにタブメニューで仕切られ、アイテムは掲示板のように時系列で並べられてきました。それらは整然としていますが、使い方を覚えにくい限り活用し難いものでもありました。クラウドベースの Google Workspace では、システムの都合を気にすることなく、チーム全員がすぐ実作業にとりかかることができ、なにも仕切らないからこそその横断検索を迅速に行うことができます。サジェスション機能により時系列を問わず関連ファイルを表示してくれます。本当に使いやすいツールは、あなたにシステムを意識させません。その都度必要な作業だけに集中させてくれる Google Workspace の生産性の高さを、ぜひ[無料体験](#)してみませんか。

Google Workspace には、オンラインベースかつ、誰もがコラボレーションできることを前提とした会議ソリューションも備わっています。

会議をもっと、生産的で開放的な場へ



便利さと安全性を追求した高性能な会議ソリューションが、Google Workspace には含まれています。企業が会議室のために膨大なコストをかけなくてもすむ時代が、いよいよやってきました。

堅牢な Google Meet が支える多様性

Google Workspace に含まれる会議ソリューション Google Meet では、招待用 URL をクリックするだけで、ビデオ会議に参加できます。外部協力者が Gmail アカウントを所持していなくても、専用のソフトを手持ちの PC にインストールしなくても問題なく、また、PC でもスマートフォンでも、社内でも外出先でも、すべてのトラフィックは暗号化され、安全に繋がります。通話品質を高めるために最新のコーデック（VP9）をサポートし、最大 250 名の参加者で HD 画質の動画を表示することができます。また、動作を軽く安定させるために専用のバックエンド IP アドレスを公開しています。会議の録画や、1 - 10 万人へのライブストリーミングも実現できます（Enterprise プランで対応）。

Google カレンダーとの連携で一連のタスクを変える

ミーティングを行いたいとき、会議室の調整や出席者とのやりとりどのくらいの時間と労力をかけていますか。数日かかるのは当たり前、Aさんと調整している間にBさんとCさんに別の予定が入ってしまい、結局、全員参加ではなく一部メンバーのみで行わざるをえないこともあるのではないのでしょうか。

Google Workspace では、すべての参加者への打診と会議室の確保がほんの数クリックで完了します。各自のスケジュールをカレンダー上で把握し、参加者を追加すると、全員の都合が良い日時とそのときに空いている参加人数に見合った適切なサイズの会議室が自動でサジェストされます。項目を選択したら保存ボタンを押すだけで、即座に、参加者全員へ招待メールが送られます。



技術者不要のセットアップ。ケーブルを繋ぐだけ、10分で完了

これまで会議システムの導入時には、専門の技術者が工具を持ち寄り、会議室を一時的に占拠したうえでセットアップ作業を行わなくてはなりません。Google Workspace なら、このような大掛かりな作業は必要ありません。Google Meet ハードウェアと、周辺機器とケーブルをつなぎ電源をオンにするだけでセットアップが完了します。初期設定も即時、容易に行なうことができます。会議室のサイズに合わせてラインナップを豊富にご用意したハードウェアは、不具合を自己診断することもでき、すべてのコンポーネントのファームウェアを自動で最新バージョンに更新するので常に最新のセキュリティレベルを維持しながら、最適な動画品質が保証されます。

従来の会議システムにかかってきた費用の数分の1で運用可、他の会議ソリューションとも連携

Google Meet ハードウェアは非常に手頃な価格で、最高品質のコンポーネントとサポートをお約束します。従来のビデオ会議システムと比較すると、その数分の1までにコストをさげることが可能です。Google が設計したスピーカーマイクはエコーを抑え、背景ノイズを積極的に管理するので、豊かで没入感のあるクリアな 360° サウンドを体験できます。グローバルな会議でそれぞれの言葉が鮮明に聞こえることは、スムーズな相互理解にひと役もふた役も買うことでしょう。参加者が多い会議室では、室内の人数に応じて自動的にカメラのズームインやズームアウト、切り抜きが行われます。

なお、Skype for Business または SIP や H.323 規格を基盤としたビデオ会議システム (Polycom や Cisco など) を利用されている場合でも、Pexip Infinity プラットフォームを介して Google Meet でのビデオ会議にシームレスに参加できます。すでにハードウェアをお持ちの企業に、無駄な出費をさせることはありません。Google Cloud は、既存ツールとの連携を視野に入れながらイノベーションをすすめています。



自動での英語字幕起こし機能

会議で使われている言語をあまり得意としない人や聴覚障害をお持ちの人のために、字幕キャプションをリアルタイムに自動付加できるようになりました。Google ならではのパワフルな音声認識テクノロジーによる精度の高い自動字幕起こしが、会議と同時進行で画面に出力されるのです。現時点では英語のみの対応となりますが、Google Cloud は今後もアクセシビリティに配慮し、あらゆる人がテクノロジーの恩恵を受けることができるよう、人間に寄り添った機能の向上を目指してまいります。

2年連続、顧客満足度第1位のテクノロジーを無料で体験いただけます

Google Workspace のビデオ会議ソリューション Google Meet は、日経コンピュータによる顧客満足度調査「ビデオ／音声会議システム／サービス部門」で2連覇を達成しています。その優れた機能や特長についてご紹介してまいりましたが、実際に[無料でお試しください](#)と、その音声品質の高さや使いやすさを実感いただけるのではないかと思います。この機会にぜひ一度、お試しください。

オンプレミスではなし得なかった、クラウドだからこそ実現できた数々の機能。
その詳細やベネフィット、活用するためのヒントをご紹介します。

スピードを支える最新機能



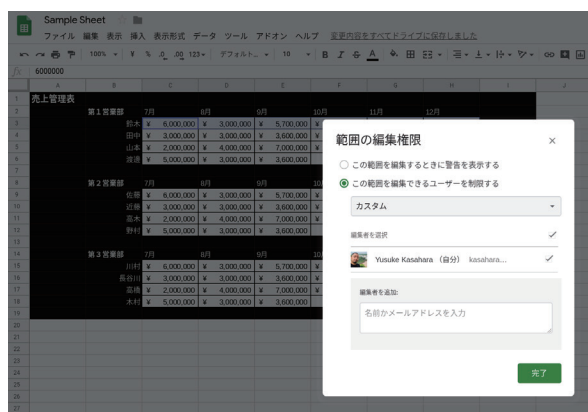
Google Workspace はもともと、Google の社員が勤務中にメールやドキュメントを扱ううちに「こうなればもっと使いやすくなるのに」と改良を重ねてきたことから始まりました。Google Workspace の機能がよくある実務上の課題を一掃することができるのは、これまでの開発者による数々の秀逸なアイデアが、クラウドベースの構想にしっかりと織り込まれたうえでデザインされているからです。

ブラウザベースで、スピーディーな作業環境を実現する

Google Workspace の各ツールはすべてブラウザ上で動いています。クラウド内に存在するファイルにはすべて URL が割り振られており、そこにインターネット経由でアクセスして作業をする、というシンプルなデザインとなっているため、動作が非常に軽く、スピーディーに作業をすすめることができます。グループウェアを立ち上げ、ファイルをローカルに呼び出してくるような設計では待機時間も多く、特に外出前の慌ただしい時には大きなストレスを感じることでしょう。ブラウザ上で動画ファイルが問題なく再生できるネット環境が整った現代社会では、ファイルの分割化や暗号化などでセキュリティがしっかり確保された Google Workspace のようなブラウザベースのツールに軍配が上がります。

スムーズで確実な共有 — 編集権限設定はセルのレベルまで

Google Workspace では、ドライブから何一つダウンロードすることなく、安全に、資料の作成や編集、外部ワーカーとの共有までスムーズに実現できます。それだけではありません。スプレッドシートの一部、まさにセル単位で、編集権限を細かく設定することができるのです。入力時のささいなミスをあらかじめ確実に防ぐことで、大人数が関わるプロジェクトでも効率的に、スピーディーにすすめることができます。クラウド内のたったひとつのシートをチームで仕上げていくため、「いったいどのファイルが最新版なのか」を気にする必要も、もうありません。



オフラインでも利用できる進化した「メモ」、Keep

Keep には、あなたのアイデアやメモ、直近のタスクなどをざっくばらんに書きためておくことができます。ネットワーク接続環境がない場所でも利用でき、外出時にオフラインで書いておいたアイデアを、のちにオンラインでドキュメントへ書き出す作業も「送信」するだけで簡単に実現できます。メモ、リスト、写真、音声、イラストを使用して同僚と共同作業をすすめることもできます。リマインド機能で場所を設定し、その場所を通るときにアラートを受け取ることも。



情報漏洩対策ですらスピーディーに実現

全ユーザーのメールのログを積み上げて結局そのままでは活用できず、ログ管理や検証、監視のための新たなシステムの構築が必要となり、終わりの見えにくい工数とともに高額な見積書が届いたことはありませんか？

Google Workspace の管理コンソールには、監査ログ機能が備えられています (Business Starter, Business Standard プランを除く)。さらに Enterprise Standard / Plus プランには、Gmail およびドライブのデータ損失防止 (DLP) 機能が含まれており、うっかりミスによる重要なファイルの削除やメール誤送信を防ぐことができます。

また、コンプライアンス違反の動きを察知した場合は、管理コンソールで即座に原因を突き止め、問題となっているコンテンツやアクションを一括削除することも可能です。事前に違反行為を定義しておけば、定義から外れたアクションが行われると同時に管理コンソールへアラートを飛ばすこともできます。管理画面は非常にわかりやすく設計されているため、管理者のリソースも削減できます。このような高性能な管理システムがオフィスツールに含まれているという事実に驚きつつ好評をいただくことも多い、Google Cloud の Google Workspace ならではの長長のひとつです。

操作	ユーザー	日時	結果	IP アドレス	デバイス
Copy of Printing 印刷予定表.xlsx	清水 マーク さんが編集者の設定をユーザーからオーナー、編集者に変更しました	2019/11/07 14:17:40 GMT+9	編集者の設定の変更	1grLLbDhL9we6FBGSaMqvV_THHGyevMtr	Microsoft Excel
Starter App (copy)	清水 マーク さんがアイテムを開きました	2019/11/07 14:06:21 GMT+9	閲覧	1NNx2HR0y160vUAqcyVr9C32-ovzpCHW7	不明
Copy of Printing 印刷予定表	清水 マーク さんがアイテムを開きました	2019/11/07 14:06:20 GMT+9	閲覧	1oGMzbtMvVDPBwN9BW3LJL-81Z4HvaWhe_IP91XGLk	Google スプレッドシート
Printing 印刷予定表	清水 マーク さんがアイテムを開きました	2019/11/07 14:06:20 GMT+9	閲覧	1V0pazv-e3d3bvMMZL9s5grQq2wtHFE4uJ0bC2JSM	Google スプレッドシート
example.docx	shimog@knowledge-one.com さんがアイテムをダウンロードしました	2019/11/07 12:55:36 GMT+9	ダウンロード	1g1UAvBzLkq44yGLp8yLdFFDDp-P1	Microsoft Word
秘密保持 約数(Temp)	User Create さんがアイテムを開きました	2019/11/07 12:54:40 GMT+9	閲覧	15k-7HkSkJ75Kz10TjwCOPVqEm_waWqCm6Zt5cUj_Fw6	Google ドキュメント

組織の動き方を可視化する、ワーク インサイト機能

ワーク インサイトでは、組織全体の Google Workspace の利用状況、勤務形態、チーム間のコラボレーションといったデータを分析することができます。その分析結果によって、例えば「どのチームの作業負荷が高まっているのか」「どの会議室の利用頻度が一番高いのか」などを知ることができ、「チームの増員や減員」や「残業時間を軽減するための施策」、「会議室のレイアウト変更」など、いま必要な改善点を見つけやすくなります。ワーク インサイトは Enterprise Plus プランに含まれていますが、Enterprise Plus に加えて別の種類のライセンス (Google Workspace Basic, Google Workspace Business など) もご利用の場合は、Google Workspace Enterprise Plus 以外のライセンスが付与されているユーザーに関するデータも表示することができます。

非 VPN 環境で働ける Google の BeyondCorp

VPN 接続せずにカフェのwifi でも安全に作業できるのは、Google Workspace ならではのベネフィットといえるでしょう。VPN ネットワークの管理リソースも不要となり、スピーディーで安全な作業環境を享受することができます。BeyondCorp は、Google での 8 年に及ぶゼロトラスト ネットワークの構築を基に、コミュニティから寄せられた最善のアイデアやベスト プラクティスを加味して設計されたゼロトラスト セキュリティ モデルを Google が実装したものです。Google Workspace は、Google がセキュリティを考え抜いてデザインした、より良い世界を実現するためのオフィスツールです。 [無料トライアルで体験できます](#)ので、ぜひお試しください。

セキュリティを中核とした Google Cloud のテクノロジーについて、本当のをお伝えします。

Google Workspace のセキュリティとデータ保護に関する真実



世界中の 500 万以上の組織に、最も価値の高い資産である「情報」の保管先として Google をお選びいただいている理由は、セキュリティへの取り組み方にあります。噂の真相をこの機会にぜひ、お伝えさせていただきます。

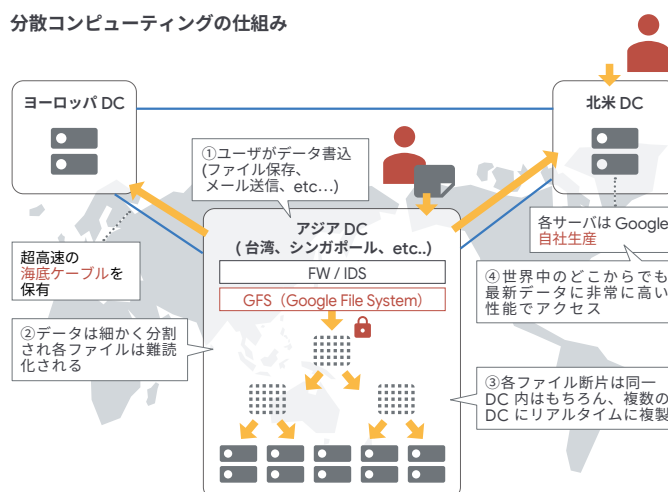
Data Center as a Service のビジョンで、独自のデータセンターを所有

Google のデータセンターではカスタム設計のハードウェアを採用し、強化されたオペレーティング システムとファイルシステムを搭載して運用しています。セキュリティ専任部門として 700 名以上のセキュリティ エンジニアを抱え、海底ケーブルも専用線で保有し、何かトラブルが起こった際には迅速に対応できるよう徹底されています。セキュリティに大きな資金を投入しているのは、Google がデータの価値とその重要性を大切に捉えているからに他ならず、保管された企業の情報を Google が広告目的で利用するようなことは一切ありません。データの取り扱いには国際認証 [ISO/IEC 27701:2019](https://www.iso.org/standard/62454.html) に準拠し、Data Center as a Service プロバイダとしても最新のセキュリティ レベルを更新、維持しています。

分散コンピューティング アーキテクチャの強みを活かす

ファイルをバラバラに分割し、読み取ることが不可能な状態にさせてから複製することで難読性が高まり、セキュリティの強度が増します。さらに複数の拠点にて分割ファイルを保管しておくことで冗長性が高まり、地域別によるデータへのアクセス速度の向上やデータ消失などのトラブルを防ぐことができます。データは Google の各サーバー、各データセンターに分散されるので、マシンに障害が発生した場合のみならず、データセンター全体に障害が発生した場合でも引き続きデータにアクセスできます。国内データセンターをご提供するよりも、マネージドサービスの可用性を高めるためにはマルチリージョンでの冗長性確保が好ましく、世界中のお客様に SLA を確保するためにもむしろ多数のデータセンタークラスターでの分散運用のほうがより安全性が高まると考えています。

分散コンピューティングの仕組み



高度な暗号方式によるデータ暗号化

Gmail のすべての送信メールは、Google データセンター間での移動時に 100% 暗号化されます。これにより、お使いの端末と Gmail サーバー間だけでなく、Google 内部でのメールの移動時にもメッセージが安全に保護されます。また、Google では TLS インジケーターを導入しており、お客様のメールが安全でない状態でプロバイダ間を移動した場合は、真っ先にユーザーに通知するようにしています。Google Workspace では、Gmail だけではなく、Google ドライブへのアクセスなどすべてのツール上で行われるやりとりやファイルが、高度な暗号方式により暗号化されています。どのように暗号化されているのかについての詳細は、[こちらの英文資料にて公表](#)しています。

法規制への準拠 — 独立した機関により認証されています

Google のお客様は、さまざまな法規制に準拠するためのコンプライアンスのニーズを抱えています。お客様の企業が、金融、製薬、製造などの規制産業にまたがって運営されている場合もあります。Google は契約により次の内容をお約束しています。

- 契約期間中、Google は ISO 27001、ISO 27018、SOC 2 / 3 の監査基準を遵守します。
- 規定されたセキュリティ標準。Google は、規定された特定のセキュリティ標準に従ってデータの処理、保管、保護の方法を定義します。
- データ プライバシー責任者へのアクセス。お客様は Google のデータ プライバシー責任者に対して質問やコメントを行うことができます。
- データのポータビリティ。管理者は、契約期間中いつでもお客様データを標準形式で書き出すことができます。Google はデータの書き出しに対して料金を請求しません。

また、Google Workspace の管理コンソールからは、ISO が適用されていることやその内容、その他のコンプライアンス関連情報を適宜ご確認いただけます。管理者は組織の規模にかかわらず、管理コンソールのダッシュボードからインフラ、アプリケーション、システム統合のすべてを一元的に管理できるので、管理や設定の業務にかかる労力が軽減されます。たとえば、社内導入型のメールシステムに DKIM（フィッシング防止機能）を導入する場合、管理者はすべてのサーバーに対して個別に修正プログラムの適用と設定を行う必要があり、設定の間違いはサーバー停止の原因になります。Google Workspace の管理コンソールを使用すれば、数千単位、数十万単位のアカウントすべてに数分で簡単に DKIM を設定でき、しかも停止やメンテナンス期間は不要です。管理者は多数のツールを各自の判断で使用できます。

法とコンプライアンス	
Google Cloud Storage のロケーション	データセンターのロケーション
Google Cloud データ処理再委託者	サードパーティ サプライヤー、サポート担当者
プライバシー認証	プライバシー シールド証明書
セキュリティ 認証と第三者監査	概要 ISO 27001 証明書 SOC 3 レポート
Google Cloud のセキュリティの概	Google Cloud セキュリティに関するホワイトペーパー
Google のクラウドデータ保護サー	企業データ保護責任者に問い合わせ
EU 担当代理人の詳細	一般データ保護規則 (GDPR) に基づく義務に準じ、EU 域外に設立された顧客の代理人として指名された人。詳細 氏名 氏名を追加

「情報漏洩を起こし得ない」ための知恵が結集されています

ID 保護について考えたとき、ログインパスワードという概念は Google にとって一要素でしかありません。エンドユーザーに委ねている限り、ID のハッキングは防ぎようがないからです。Google は FIDO 標準に準拠し Google が設計したファームウェアを内蔵するハードウェアチップが組み込まれた Titan セキュリティ キーを開発しました。セキュリティ キーは Google アカウントへのアクセスに使用する物理キーで、コードではなく暗号化された署名が送信されるので、ログイン情報がフィッシングされる危険性を回避できます。管理者は、管理コンソールの設定を使用することで、セキュリティ キーを簡単に導入、監視、管理できます。追加のソフトウェアをインストールする必要はありません。また、許可されていないメールを送信させないようにコンテンツ コンプライアンスを設定して管理することも容易にでき、情報漏洩を起こし得ないためのロジックと知恵が Google Workspace に結集されています。

管理者の監査すら行える、監査ログ

全ユーザーの操作状況をログで残していても「ログ分析のためには別途、システムを追加購入してください」といわれたことはありませんか。Google Workspace には、レポート機能や電子情報開示に対応した監査ログ機能があらかじめ含まれています (Basic プランを除く)。ユーザーがコンテンツを表示、作成、更新、削除、または共有するたびにログが記録されます。これには、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド、その他の Google Workspace で作成したコンテンツだけでなく、PDF や Word ファイルなど、他で作成してドライブにアップロードしたコンテンツや、チャットやカレンダーの内容も含まれます。また、管理者の操作状況すら、Google Vault による監査ログから確認することができます。Google Workspace の徹底したセキュリティについては、[こちらから](#)より詳しくご確認いただけます。

クラウドベースの Google Workspace への移行なら、手間も悩みも削減できます

Google Workspace への移行と共存



他社製サービスとの ID 統合および連携に優れた Google Workspace。移行元の環境に合わせた移行ツールも多数ご用意しています。

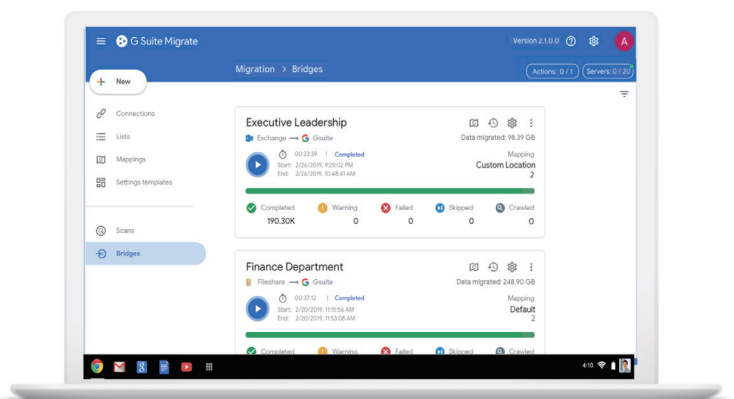
移行時の最大の悩み、ID 統合と連携：Google Workspace のログイン ID で、他社クラウドサービスも利用可

Google のシングル サインオン (SSO) 機能は、OpenID Connect (OIDC) ID プロバイダと Security Assertion Markup Language (SAML) 2.0 に対応しています。管理者が社内のクラウド サービスで SAML 2.0 を使用するよう設定すると、ユーザーは Google Workspace や Cloud Identity の認証情報を使ってそれらの他社製クラウド サービスにも 1 つの ID でログインできるようになります。例えば、Google Workspace の SAML 連携により、既にお使いになられている Slack や Box、Office 365 など、企業に導入済みのサービスとスムーズに共存させることができます。さらに、優れた ID 統合機能により、管理面でもシングルポイントになるため手間が省けます。連携できるサービスの詳細は、[こちらのページ](#)からご確認ください。

無償でご提供している移行ツール、Google Workspace Migrate

Google Workspace Migrate を使用すると、Microsoft® Exchange、SharePoint®、ファイル共有、Box® などの大量のコンテンツを Google Workspace アカウントに短時間で移動できるほか、複数の Google Workspace コアサービスへの大規模な移行を 1 か所で管理できます。

Google Workspace Migrate は、クラウドからでも、オンプレミスでも、あるいはそれらが混在している環境でも設定可能です。組織で管理しているソフトウェアとは別個に動作するため、管理者は移行のタイミングと移行先を制御できます。



環境に合わせた移行サービスを選ぶ

Google Workspace Migrate は、Google Workspace Business Plus、Google Workspace Enterprise、Google Workspace Enterprise for Education、そして Drive Enterprise の Google Workspace バージョンを利用しているお客様を対象に提供しています。また、データを移行する際のおすすめの方法も、[オンライン資料](#)として公開しています。なお、Google Workspace Migrate 以外にも移行元の環境に合わせた[さまざまな移行ツール](#)をご提供しています。IBM® Notes®、Domino® やファイル共有など、移行元の環境および移行するユーザーの人数によっては、どのような移行方法が望ましいのか判断が難しい場合があります。これらの移行ツールによって、組織のメール、カレンダー、連絡先、フォルダ、ファイル、権限を Google Workspace に移行するにあたって適した方法をご選択いただくことが可能です。

移行中でも、日々の業務を滞りなく遂行

移行元のシステムによりませんが、移行元のアカウントに送られたメールをすべて、移行が終了するまで新しいアカウントに転送することも可能です。Google Workspace の Gmail の利便性を一日も無駄にすることなくすぐ享受できるので、スムーズに効率的な移行作業をすすめることができます。また、送信済メールや削除済メール、迷惑メールなどを移行対象外とする設定を、チェックボックスをクリックするだけで行なうことができます。日常的にメールが大量にとびかうような業種の組織でこの設定を徹底すれば、移行によるデータ保存コストの削減までも実現できることでしょう。

また、Google Workspace では、[カレンダーの相互運用](#)を使用して、Microsoft® Exchange と Google カレンダーを併用できるように設定できます。カレンダーの新しい相互運用ツールを使用して、移行元での他社製サービスと Google カレンダーを組織内で併用できるようにすることが可能です。両方のシステムのユーザーが会議室の空き情報を共有して、お互いのスケジュールを確認、予約できるように設定できます。会議の日程がずれたり重複してしまうような、併用していることによるエラーが発生しないため、移行によるストレスを感じることなく仕事に集中していただけます。



Google Workspace への移行：データ共有と分析によるビジネス判断のブラッシュアップ

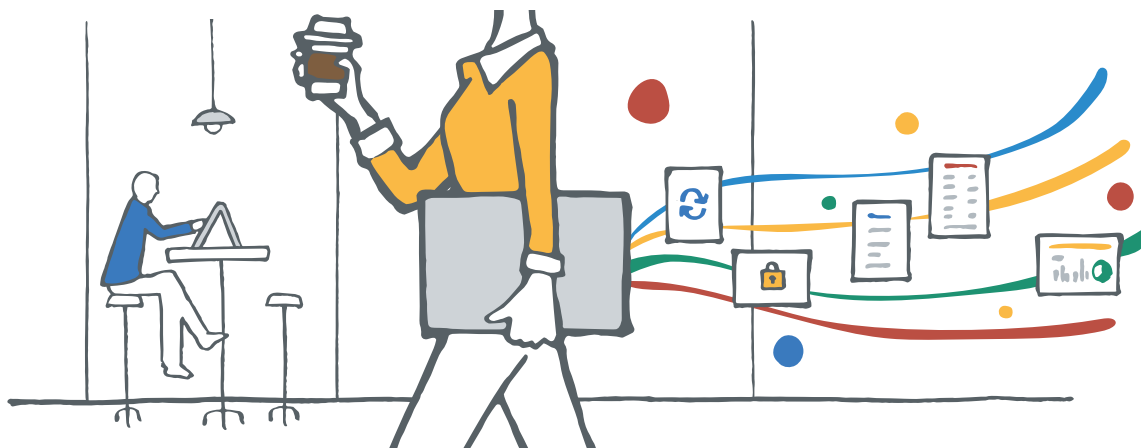
クラウドベースの Google Workspace に移行すると、意思決定に必要な大量のデータを、これまでは想像できなかったほどのスピードで情報源から検索し、ピンポイントで共有できるようになります。また、ユーザーフレンドリーな管理コンソールでデータを分析することで、何をどう改善すれば無駄を省いたり売上を強化できるのか判断しやすくなります。ひとつのコンテンツや分析結果をチーム全員で共有し携わるようになるため、ビジネス判断のブラッシュアップもごく自然に行われます。データを活用して正確に素早く全体の判断力を高められることは、企業にとって大きなメリットといえるでしょう。

移行後の IT 環境における大きな変化

クラウドの世界では、製品は「完成」することがなく、新しい機能追加や更新・修正が絶えず行われます。これにより、セキュリティは、一度限りで対応されるようなものではなく、継続的に改善・機能追加される慣習になります。また、データ分析は高速だけでなく、継続的に何度も実施されるものになります。さらに近年では、AI を活用してクイックにデータを活用したり、膨大なデータを分析する機能も追加されています。製品のバージョンアップやセキュリティ更新はすべてバックグラウンドのクラウド側で行われるため、追加費用のご心配も不要です。あなたの会社の IT 環境が、よりシンプルで安心してご利用いただけるものになることでしょう。ぜひ、この機会に Google Workspace への移行をご検討ください。[無料体験はこちらから](#)お申し込みいただけます。

Chromebook, Chrome との併用で Google Workspace のパフォーマンスを最大化させる

Google Workspace のために最適化された Chromebook の実力



Google Cloud では、Google Workspace を最大限に活用できる Chromebook の導入をおすすめしています。持ち運びやすい軽さとブラウザベース所以の動作の軽さ、そして堅牢なセキュリティ実現のために、これまでの常識を完全に振り切った痛快なマシンです。

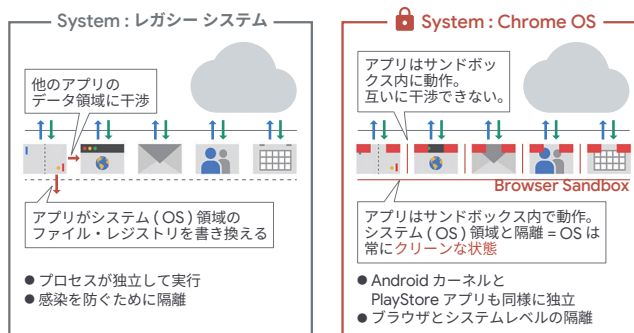
Chromebook の驚異的なスピードと安定性

Chromebook を初めて手にした時に、真っ先に驚くのは「数秒で起動する」、その早さでしょう。Chromebook の起動の早さや動作の軽さは、CPU やメモリやドライブといったマシン自体の性能ではなく、サンドボックス（砂場）と呼ばれる構造そのものに理由があります。Chromebook に搭載されている Chrome OS は、ウェブブラウザのみが動くという非常に軽い設計で、その管理や制御はすべてオンライン環境で行われます。ブラウザベースの Google Workspace アプリは、サンドボックス内で動作し、互いに干渉しません。また、Chrome OS のシステム領域とアプリも隔離されているので、システム起因でアプリが動かなくなるような難解なトラブルが起こりようがないのです。「アプリケーションを HDD へインストールする」という使い方に長年慣れてきていることでしょうか、ブラウザベースのツールである Google Workspace で困ることはなにもなく、Chromebook ならではのスピードと安定性という恩恵を受けていただくのみです。

アプリ配布、アップデートなどのクライアント管理が不要

Google Workspace の各ツールのアップデートは、Google 側で自動的に都度行われていますので、ユーザーが気にかけることは何もありません。Chromebook 搭載の Chrome OS アップデートは、6週間ごとに行われます。それは数秒で完了する、シームレスな自動更新です。パッチは 48 時間以内に適用されます。管理者が Chrome OS のバージョンを制御することもできますが、その管理コンソールも Google Workspace と同じものですので手順が煩雑になることはありません。

サンドボックス



ブラウザベースの設計により、管理者のリソースをより有効に活用できる

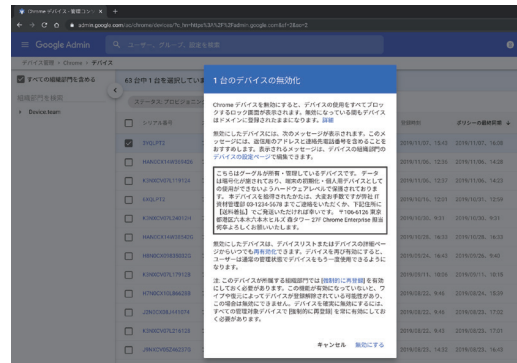
Chromebook と Google Workspace の管理は、同じ ID で行われます。パスワードをいくつも管理しておく必要がなく、アカウントひとつですぐにログインし、始めることができます。管理コンソールも含め、すべてがブラウザベースで設計されており、オンラインで稼働しています。Chromebook と Google Workspace を導入していただければ、IT 運用チームが、システム起因のトラブルシューティング対応やインストール関連のサポート対応にこれまで割いてきたリソースを大きく削減し、より戦略的な管理を行うことにその時間や労力をお使いいただけるようになります。さらに、管理者のみさんのために、リモートデスクトップ専用ツールもご用意しています。

新たな時代の IT 資産管理 — セキュリティは高く、コストは低く

Chromebook のセキュリティと可用性の高さによりこれまでの制約をクリアでき、端末を社外へ持ち出すことができるようになった企業が増えてきました。Chromebook はその構造と設計のおかげで存在自体がセキュアです。ブラウザで悪意のあるサイトに踏み入れてしまったとしても、そのブラウザタブ単体がクラッシュするだけでその他の影響は起こりません。すべての内蔵フラッシュメモリは暗号化されていますので、仮に悪意のある人物が Chromebook からフラッシュメモリを取り出したとしても、複合化することは極めて困難です。端末を紛失しても遠隔操作で停止でき、同じ ID で別の Chromebook からログインするだけで、それまでの仕事の進捗状況をただちに再現することができます。

新入社員やマシンの切り替え時に必ず発生する初期設定作業にかかる時間やコストも、複雑なアカウント設定やインストールが不要な Chromebook であれば、劇的に削減いただけます。新たに届いた端末を実際の業務で使えるようにするための設定作業に、これまで端末 1 台につき約 6 時間かかっていたところを、Chromebook ではたった 20 分で済んだというお客様もいらっしゃいます。そのお客様の場合、従来のノート PC に比べると約 60% のコストで Chromebook を導入していただきました。* また、Chrome OS と Google Workspace のメンテナンスは自動的に行われますので、一度導入してしまえば、IT 環境の長期的な運用費削減が期待できます。

*事例詳細は[こちら](#)からご覧いただけます。



コストパフォーマンスの高いサブスクリプション

企業や組織として Chrome OS 端末を管理し制御するためには、Chrome サービス (Chrome Enterprise、Chrome Education など) にお申し込みいただく必要があります。サブスクリプション ライセンスを購入すると、端末の登録、設定の構成、組織内のユーザーや端末へのポリシーの適用ができます。

有料の年間サブスクリプションは、Chrome Enterprise の 60 日間の無料試用の後に開始でき、その間、最大 10 台まで適用いただけます。年間ライセンスの価格は年 7,000 円ほどと非常に低価格におさえており、また、ひとつのライセンス (端末 1 台) を複数のユーザーに紐付けることが実質的に可能です。Chrome OS は高度な共有可能システムとして設計されています。多数のユーザーが 1 台の Chromebook に連続してログインできますので、コストパフォーマンスの高いサブスクリプションを提供できます。

Google Workspace は、Chromebook で使用することでより高い効果が得られる

チームの生産性アップを実現できるうえ、管理の負担が少なく、堅牢なセキュリティを特長とするオフィスツール Google Workspace は、Chromebook で使用することでより高い効果が得られます。Chromebook の機能についての詳細は、[こちら](#)からご確認いただけます。また、Google Workspace の[無料体験](#)は[こちら](#)からお申し込みいただけます。ぜひこの機会に、Chromebook と Google Workspace の導入をご検討ください。

チャットで、メールで、ビデオ通話で、世界中のチームとつながる



Gmail: いつでもリアルタイムでメッセージ通知を受け取り、重要なメールやデータを安全に保存できます。



カレンダー: Gmail やドライブなどとシームレスに連携し共有でき、スケジュールを効率的に確認できます。



Hangouts Chat: ダイレクトメッセージからグループチャットまで。会話はスレッド別に管理できます。



Hangouts Meet: どこにいても簡単にビデオ通話でチームメンバーとコミュニケーションがとれます。



Hangouts Meet ハードウェア: Google Workspace との統合でコントローラをタップするだけで会議に参加できます。



Google Voice: あらゆる規模のビジネスに最適化されたクラウドベースの電話通信システムです。

スピーディに共同作成、チームメンバーは常に最新版にアクセスできる



ドキュメント: テキスト文書の作成や編集をブラウザで直接行い、すべての変更は自動的に保存されます。



スプレッドシート: 複数人での共同作業ができ、AI機能でシート内のデータから瞬時にインサイトを導きます。



フォーム: アンケートを簡単に作成、回答のデータをスプレッドシートで集計しリアルタイムに分析できます。



スライド: ブラウザで質の高いプレゼンテーションを作成でき、全員が常に最新版にアクセスできます。



サイト: プログラミングやデザインの専門知識がなくても、質の高いサイトを共同で作成できます。



Keep: 書きとめたメモを管理しチームメンバーと共有、リマインダー設定で管理することもできます。



Jamboard: インターネットに接続された対話型デジタルホワイトボードでチームの創造性を発揮できます。

安全な共有基盤から、必要なものをパソコンでもスマホでもすぐに探することができる



ドライブ: あらゆる形式のファイルを保存でき、ファイルへのアクセス権限や共有方法も管理できます。



Google Cloud Search: Google の技術を活用し、企業にあるコンテンツを横断し全体を検索できます。

安全に、そしてスマートに管理する



管理コンソール: ユーザー追加や端末管理、セキュリティを簡単に設定でき常にデータの安全が確保されます。



Vault: Google Workspace 組織のデータを保持、検索して書き出して、重要な情報を安全に管理します。*

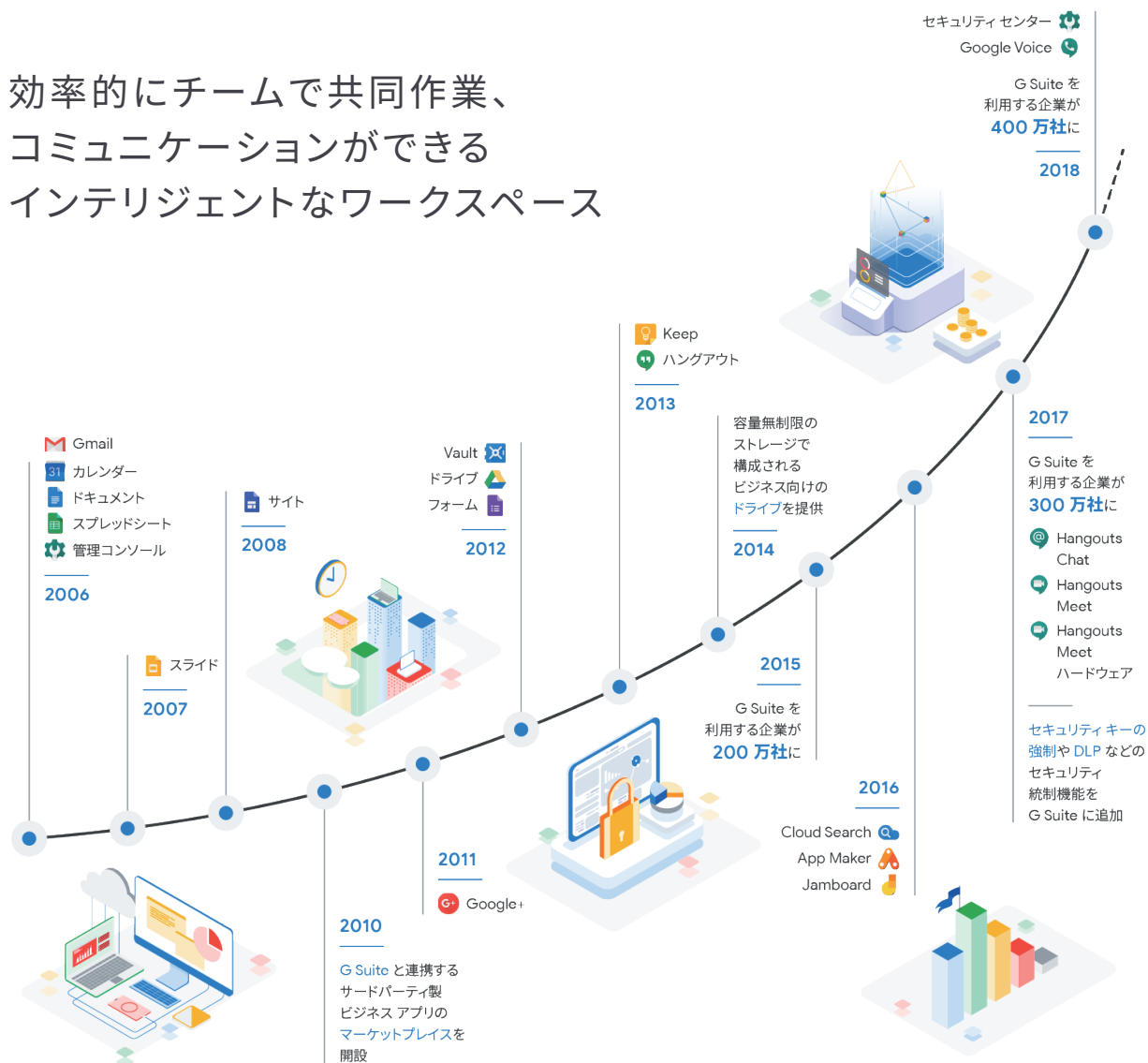


モバイル: Android、iOS、Windows などのスマートフォンのモバイル管理をシンプルに行います。

* Vault は、Google Workspace の Business エディションと Enterprise エディションでご利用いただけます。

600 万社以上の企業が導入、 15 億人が世界中で使用

効率的にチームで共同作業、
コミュニケーションができる
インテリジェントなワークスペース



Google Workspace はこれからも、仕事をするすべての人の成功を後押しする存在でありたいと考えています。
そのためにも、よりよい製品の開発とサポート体制の強化に努めてまいります。

Google Workspace に関するお問い合わせ

ウェブ：workspace.google.com/contact-form

フォームにご記入いただき送信してください。

営業担当から折り返しご連絡いたします。

*

お電話：0120-95-0067

※ 受付時間 - 平日 9 時 ~ 18 時 / 祝祭日、年末年始を除く

Google Workspace を無料でお試しいただけます

ビジネス用メール、ビデオ会議、オンライン ストレージなどのさまざまなツールをご利用いただけます。14 日間の無料試用では、ダウンロードが必要なソフトウェアはありません。

goo.gle/WorkspaceTrial